

国際社会学科のカリキュラムの中軸をなすのは、フィールドワークを軸とする現場立脚型の体験学習です。

## ・グローバル化をしる

## ・多様性にまなぶ

## ・共生をつくる

- ・1年次には、全員が国内・海外で約1週間の「国際社会体験演習」を履修します。海外6コース、国内5コースのプログラムが準備されています。すべてのプログラムは学科教員の専門性を活かして設計されています。
- ・2年次には、海外フィールドワークや国内ボランティア活動を通じて多文化共生を実践的に学ぶ「国際社会プロジェクト演習」を履修することができます（選択必修）。

## 海外コース



★は「国際社会プロジェクト演習」のコース

- ① 旧ドイツ圏ホロコーストの「負の世界遺産」からヨーロッパの多文化共生と差別を考えます。
- ② グローバルな労働力移動を前提とするネパールの社会と経済のダイナミクスを現場で学びます。
- ③★ ラオスのコーヒー・フェアトレードに実際に参加し、農民の生活戦略とその仕組みを調べます。
- ④ セブ島で集中的な英語学習をおこないながら、フィリピンの多言語・多文化社会を体験します。
- ⑤ アンコールワットでの観光を通じた国際社会との関わりを<遺跡生態系>として学びます。
- ⑥ タイの大学生とバンコクの都市菜園を観察しながら、持続可能な農と食について考えます。
- ⑦ シンガポールの大学生とともに、多民族国家の文化・宗教・教育のあり方を学びます。
- ⑧★ エビ生産の現場を歩きながら、国際商品を通じたインドネシアと日本の関係を調べます。

## 国内コース



- ① 海外出身の技能実習生とともに働き交流しながら、「日本のグローバル化」を現場で体験します。
  - ② 戦前にさかのぼる地方都市の国際化の軌跡について、市民や行政の当事者とともに学びます。
  - ③ アートを用いた観光とまちづくりの可能性について、島の人びととともに考えます\*。
- \*2022年度から実施予定
- ④ 中華街に暮らす人びとの語りを聞きながら、身近な国際都市の歩みと現在を理解します。
  - ⑤ キリスト教・仏教・イスラーム等、異なる宗教どうしの境界を越えた共存と交流のあり方を学びます。